



千葉県立中央博物館

分館海の博物館

# 海の生きものの古い図鑑 〜明治から昭和初期まで〜

2023.10/21 **土**



2024.1/14 **日**

科研費  
KAKENHI

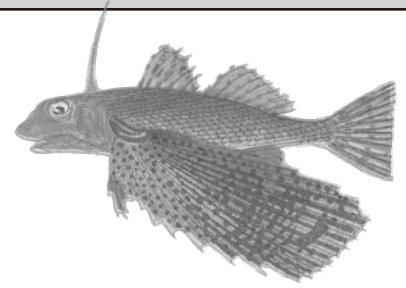


# こんなにあった海の生きものの図鑑、ここに集結！

四方を海で囲まれたわが国では、海の生きものを扱った図鑑がたくさん作られています。この展示では、明治から昭和の初期までに出版された、海の生きものに関する図鑑や啓蒙書約30種を紹介し、私たちが海の生きものを学んできた歴史を振り返ります。

## 明治 —近代化に向かって—

幕末の開国以降、日本は海外の技術や文化を積極的に取り入れ、明治時代の幕開けとともに急速な近代化を成し遂げました。明治も後半になると、『日本重要水産動植物図』のような、殖産興業政策と関連して日本の水産物の多様性を示すための海の生きものの彩色図鑑が見られるようになります。また、学制頒布当初、海外の書籍を翻訳して教科書に当てていた教育の分野でも、『普通動物図譜』など、しだいに日本周辺で見られる海の生きものを取り入れた図鑑が作られるようになりました。これらの図鑑には近代的な科学の知識ばかりでなく、江戸時代の本草学の参考書や、多数の博物図譜から受け継がれてきた情報も取り入れられました。



セミホウボウ。『日本重要水産動植物図』(大日本水産会、明治30年)より。

## 大正 —モダン分類学—

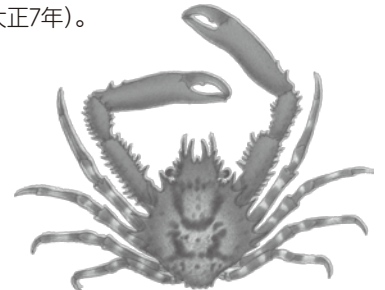
明治の初めに近代生物学を取り入れた当初、東京帝国大学医学部や理学部では、「お雇い外国人」による教授によって日本人研究者が育てられました。その後、日本人自らの手によってわが国の生きものが研究されます。特に東京帝国大学理学部動物学科4代目教授の飯島 魁(1861-1921)はたくさんの日本人分類学者を育成し、明治時代後半から大正時代にかけて、彼らによって日本に生息する海の生きものが数多く新種として発表されました。また、大正時代のハイライトとして、飯島教授によって1918(大正7)年に当時の動物学の粋をまとめられた大著『動物学提要』の出版が挙げられます。しかし、わずか15年足らずの大正時代には主だった図鑑は出版されず、この時代の知識の埋み火は昭和になって一気に燃え上がります。



飯島 魁による『動物学提要』(大日本図書、大正7年)。

## 昭和 —図鑑の百花繚乱—

日本人分類学者によって数多く発表されたさまざまな海の生きものの成果を含め、それまでに日本から知られていた動物の顔ぶれが、1927(昭和2)年に『日本動物図鑑』としてまとめられました。それに続き、魚類や貝類、カニ類のように、特定のグループを絞った専門的なカラー図鑑が相次いで出版されました。また、水産の分野でも、分類学的研究の成果を取り込み、美しい彩色図を使った図鑑が作られました。さらにこの時代には、小野田伊久馬(1870-1938)ら教育者によって、これらの図鑑を参考にさまざまなグループの動物をまとめた『内外動物原色大図鑑』のような大型図鑑や、フィールドへの携帯が便利なコンパクトな図鑑も見られるようになります。このように、昭和の始まりから太平洋戦争中にかけては、海の生きものに関するさまざまな図鑑が見られる百花繚乱の時代とすることができます。



ノコギリガニ。『内外動物原色大図鑑』(動物原色大図鑑刊行会、昭和11年)より。

### 講座

#### 「海の生きものの図鑑小史—明治から昭和まで—」

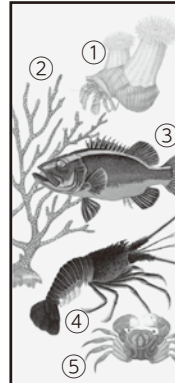
日時 令和5年11月5日(日) 13:00~15:00

参加費 無料 定員 15名

内容 明治から戦中までに出版された海の生きものの図鑑や啓蒙書が製作された背景を深く掘り下げます。

\* 要事前申込。

### 表面図の出典



①ヤドカリイソギンチャク、②イソバナ、⑤アカテガニ：『内外動物原色大図鑑』(動物原色大図鑑刊行会、昭和11年)。

③ルリハタ、④イセエビ：『日本重要水産動植物図』(大日本水産会、明治30年)。

### ■ご利用案内

開館時間：午前9時~午後4時30分

(入館は4時まで)

入場料：一般200円、高校・大学生100円

中学生以下、65歳以上、障害者手帳を

お持ちの方と介護者1名：無料

休館日：月曜日(休日の場合はその翌日)、

年末年始(12/28~1/4)

### ■交通

JR 外房線：鶴原駅から徒歩15分

勝浦駅からタクシーで約10分

勝浦駅から小湊鉄道バス「ミレーニア勝浦」

行き、「海の博物館」下車徒歩1分

自動車：圏央道・市原鶴舞ICから約1時間

駐車場：普通車2時間まで200円

障害者手帳をお持ちの方と介護者は無料

〒299-5242 千葉県勝浦市吉尾123

TEL 0470-76-1133

Fax 0470-76-1821

URL <http://www.chiba-muse.or.jp/UMIHAKU/>

# 千葉県立中央博物館 分館 海の博物館

